



ほしの
星野 あけみ

質問者の動画
が見られます



Q. 事故現場は通学路点検で危険箇所との認識か
A. 危険箇所との報告で対策を講じてきた

【質問】下校時の交通事故が発生した。対応は。

【教育総務課長】以前からの通学路点検報告を受け、横断歩道の前後に標識の設置や路面表示さらには道路に破線（ドットライン）をつけて対策を講じてきた。

事故後、通学方法の見直しの指示があり、4月からの猪苗代第二小の路線バス登下校をスクールバスでの登下校へと変更した。

3月1日、翁島小において対象児童保護者に説明をした。

【質問】信号のない横断歩道が多く設置されている。対策は。

【総務課長】事故の多発する場所や危険箇所は、区長や住民の方から意見・要望を頂き、現場を確認しながら対応している。



通学路点検の重視を

【質問】横断歩道はバス停の近くに設置されている。交通量の多い道路を渡る危険性を減らすためにバス事業者と協議する考えは。

【企画財務課長】児童・生徒の安全を確保するためバス路線及びバス停留所の改善が図られないか、協議をしてまいりたい。

これまでも、国道から集落内への乗り入れの協議を重ねてきた。冬期間の除雪体制や道幅が狭く、集落内で転回する場所がないなどから実現には至っていない状況である。



避難所のプライバシーテント

Q. 災害時の情報発信は
A. 携帯のエリアメールでいち早く発信

【質問】道路の寸断など孤立する地域の想定は。

【総務課長】土砂災害警戒区域に指定される千貫・蒲谷地・達沢の3行政区と金堀地区である。

【質問】道路啓開のための計画策定や事業者との協定締結の状況は。

【総務課長】福島県建設業協会猪苗代支部及び猪苗代町災害救援協力会と締結しており、町内全ての業者が含まれている。計画は策定していない。

【質問】避難所の食料備蓄は塩分濃度の高いものが多い。配慮すべきでは。

【総務課長】非常食として白がゆ等、比較的塩分の低い食料も備蓄している。

【質問】避難所のトイレの現状とトイレトラックの導入は。

【総務課長】既存のトイレに設置する簡易トイレ4千回分、自動ラップ式トイレ12基に加え、専用の袋1500回分の備蓄をしている。トイレトラックは費用対効果で現実的ではなく、仮設トイレで対応する。



いがらし
五十嵐 ミエ子

質問者の動画
が見られます



Q. デマンドタクシー乗り継ぎのヤード追加は
A. 4月1日から大型店2か所を追加する

【質問】デマンドタクシー運行利用は、町内全域を利用対象区域にすべきと考えるが。

【企画財務課長】町民のニーズや地域住民が支え合う地域共生社会の在り方も含めて検討する必要があると捉えている。

【質問】高齢者の買い物を支援する乗り継ぎのヤードの増設は

【企画財務課長】現状では大型店舗の近くにある、あしはら歯科医院や町立猪苗代病院が買物ヤードとして利用されており、高齢者が県道を横断する危険性も考慮し、リオン・ドール猪苗代店とヨークベニマル猪苗代店を追加する。

【質問】週末に運行する考えは。

【企画財務課長】必要性やニーズの度合いを踏まえ、今後検討してまいりたい。

Q. 千里小学校周辺の通学路の安全対策は
A. 道路整備事業再開のめどが立っていない

【質問】千里小学校周辺の危険箇所対策は。

【建設課長】国道115号から堤崎の交差点までの区間は、都市計画決定している路線であり、平成6年度に国道115号側から整備を進めてきたが、平成14年度に地権者から道路整備に対する取りやめの要望書が提出、道路整備事業を断念し、現在に至っている。

【質問】早急な対応が必要と考えるが。

【建設課長】令和4年度に千代田地区の地権者へ説明会を実施したが、同意が得られない。今できる対策として、道路区画線を追加標示し、道路の交通安全に努めている。



危険と思われる通学路

Q. 0歳から3歳未満児の保育料無料化の考えは
A. 近隣市町村の動向なども考慮し、検討したい

【質問】若い方々の経済的支援は。

【副町長】結婚新生活支援事業や妊婦健康診査費用の助成、出産手当等の支給などの支援を行っており今後も継続的に経済的な支援を行っていく考えである。

【質問】子どもは社会が育てるという立場に立つべきと考えるが。

【こども課長】子どもは、地域を支える地域の宝として考えている。給付といった直接的な経済的支援から、子育て支援活動等に対して間接的なサポートまで、子育て全体での支援に関わっていききたい。

わたなべ しんいちろう
渡辺 真一郎質問者の動画
が見られます

【質問】令和元年比で令和5年の観光客入り込み見込み数は。

【商工観光課長】約248万人で26万人の減。

【質問】その中でインバウンドの割合は。

【商工観光課長】約2万1千人で令和元年比約1万人、約1・9倍の増。

【質問】外国語の堪能な職員の確保が必要なのは。

【総務課長】採用の受験者が減少し人員の確保は難しい。

【質問】外国人と対応できる体制作りは職場として当然では。

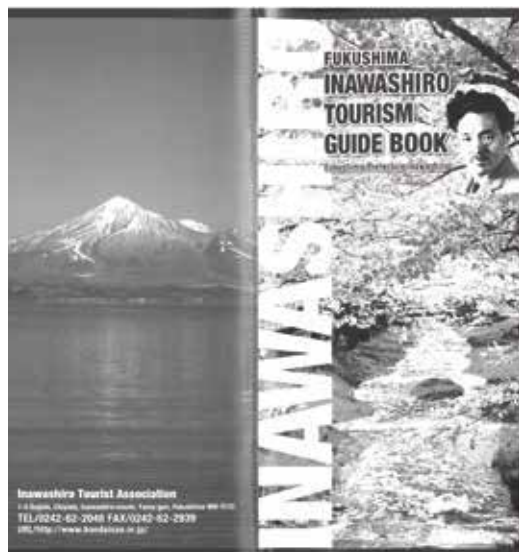
【総務課長】必要であれば準備する。

【質問】外国語表示のマップは案内板を準備すべきでは。

【商工観光課長】外国人用に五ヶ国語のパンフレットを用意している。看板はスマホのアプリ活用により情報提供したい。

Q. インバウンドの観光客増の理由は

A. 台湾と福島とのチャーター便が運航されたことが大きい



観光協会発行の英語のパンフレット

Q. 廃墟となった宿泊施設の現況調査は

A. 現状は把握していない、実施は検討中



猪苗代駅前の様子

Q. 企業版ふるさと納税の準備状況は
A. 令和4年度から寄附の受入れ体制が整っている

【質問】国有地にある廃墟ホテルは国に現状復帰を要請すべきでは。

【商工観光課長】再利用計画がないと難しい。

【質問】国は土地を貸す場合、返す際は原状復帰が義務ではないのか。

【商工観光課長】働きかけをしていく。

【質問】廃墟の宿泊施設はこれから増加する。建物の固定資産税の一部を積み立てる仕組みはできないか。

【商工観光課長】現状ではできない。

【質問】現在の企業版ふるさと納税特例措置は令和6年で終了か。

【企画財務課長】6年末までである。

【質問】実施にあたっての課題点は何か。

【企画財務課長】職員のみではパワー不足であること。地域おこし協力隊を雇用する予定。

【質問】人材派遣型の活用は検討したか。

【企画財務課長】採用する地域おこし協力隊の経験を活かしたい。

【質問】活用事例は調査されたか。

【企画財務課長】先進地事例を調査し、これまでも取り入れながら推進を図ってきた。

【質問】交通ルールの指導だけでなく、物理的な事故防止対策は。

【教育総務課長】今年度4月より国道49号線沿線之路線バス対象の小学生児童をスクールバス通学とし、戸ノ口地区の中学生もスクールバス通学対応とした。

【質問】統合後の通学路で、横断歩道が設置されていない箇所は。

【教育総務課長】各学校から年2回報告を受けており、相当数あると思われる。

【質問】保護者や学校から横断歩道設置に対する要望の現状は。

【教育総務課長】通学路安全点検で7か所の要望があり、内1か所が対応済み。

【質問】安全点検により報告された危険箇所の件数は。

【教育総務課長】夏の点検により33箇所、冬期間の点検で11箇所の報告を受けている。

【質問】複数年継続して危険箇所と報告されながら、改修困難な箇所や改修が進まない事由は。

【教育総務課長】第二小学校周辺の町道部分や、町道三城潟西館線、中学校の西側の幅員が狭く危険と報告を受けている。用地確保が必要であり、整備のため説明会を開催している。



猪苗代第二小学校周辺の通学路

【質問】改修困難箇所の安全対策は。

【建設課長】第二小学校周辺については、道路区画線の破線と通学路表示を設置。中学校西側については、道路の南側部分の路肩部分を1・2メートル拡幅する。

【教育総務課長】学校や地区委員会等で児童・生徒への情報共有を行う。

【教育総務課長】第二小学校周辺は立木伐採を行い視界確保に努める。

【質問】通学時間が長くなる児童・生徒に対しては、一定の基準を設けて再検討すべきでは。

【教育総務課長】通学方法の検討に際しては配慮して計画を練っている。通学時のトイレ利用については対策を講じる。

【質問】危険予知が未熟な子供たちの安全性は特に配慮しなければならない。

行政と学校・保護者の情報共有の必要性が求められるが、小学校統合後の新たな取り組みは。

【教育総務課長】スクールバス発着所に交通指導員の配置や看板を設置し、支援員による対応を予定。

P.T.Aや地域の見守り、交通安全運動などの協力を賜わりながら、抜け目なく取り組んで参りたい。



拡幅予定の猪苗代中学校西側道路

質問者の動画
が見られますすずき げん
鈴木 元

あんだい ひろあき
安齋 浩明質問者の動画
が見られます

Q. 猪苗代町議会議員一般選挙の結果は
A. 有権者は、新人候補者、若手候補者に期待



当選証書を受ける

【質問】選挙結果を町政にどう反映するのか。

【副町長】今般の選挙で、有権者の方々が新人候補者、若手候補者の考え方あるいは行動力を支持され、期待している結果だと捉えている。投票率そのものとしては必ずしも高くなかったと受け止めている。今後は、町民の皆さんに一層の関心をもってもらえるよう、議員の皆様方と一緒に、町政進展のために尽力する。

Q. 交通事故防止対策は
A. 町道は、可能な限り安全対策を実施している

【質問】令和5年の交通事故発生状況とその対策は。

【総務課長】令和5年の交通事故発生件数は、物件事故が558件、人身事故が24件、人身事故のうち死者数が1件、傷者数が30件となっている。交通事故が多発する場所等については、案件によっては警察署や道路管理者へ取り次ぎ、町道であれば建設課と協議・検討し、可能な限り安全対策を実施している。

【質問】交通死亡事故発生時の危険箇所は点検は。

【建設課長】交通危険箇所の点検は、通学路合同点検で実施している。今年度は、区画線や路面表示を施行するなど即効性の高い安全対策を実施した。

Q. 移住・定住対策は
A. 関係団体と連携する

【質問】小学校統合に伴う交通事故防止対策は。

【教育総務課長】児童に対する交通安全教育に引き続き努める。スクールバスや路線バスに搭乗し、状況を確認するなど危険箇所の把握に努めるとともに関係機関と連携し交通事故防止対策に取り組む。

【質問】認定NPO法人ふるさと回帰センター等との連携は。

【商工観光課長】令和5年度からセミナーに参加している。令和6年度も連携し、セミナーを開催する。



移住・定住に確保できた住宅

【質問】ホームページ掲載の移住・定住に関する情報提供の効果等は。

【商工観光課長】令和5年度は、今のところ34件で平成30年の3倍以上の相談件数となっている。移住者は、1月末現在13件、28名となっている。

【質問】移住・定住に特化した課等の新設予定は。

【総務課長】業務量に応じた職員配置をしており、移住・定住の業務は商工観光課が担当している。現時点での移住・定住に特化した課等の新設予定はない。

Q. 本町で子育てしたいと思ってもらえる施策は
A. 他市町村に負けない子育て支援に取り組む

質問者の動画
が見られますながとも ひろむ
長友 海夢

【質問】子育て支援拡充による人口減少対策の課題は。

【保健福祉課長】経済的な支援を含む、切れ目のない子育て支援が、町にとって現状の課題。

【質問】子ども園の働き手不足に対する施策は。

【こども課長】現場の職員確保は最優先と考えている。広報紙や回覧での募集、有資格者へ勧誘を行い、人員確保に努めたい。

【質問】今後の新たな施策は。

【保健福祉課長】0歳～2歳児を対象とし、おむつ券の支給や、小児科や産婦人科の専門医に相談できるオンライン医療相談体制の整備、屋内遊び場の遊具整備等、令和6年度の予算に計上した。



地域探究学習の様子

(※1) アントレプレナーシップとは新しい価値を創造し、リスクを恐れずに挑戦する精神や姿勢。

【質問】アントレプレナーシップ(※1)教育導入に対する町の考えは。

【教育総務課長】一部の大学や高校で導入が始まったと聞いている。この教育は、今後更に必要になるのではと認識している。

【質問】社会起業家の育成は。

【教育総務課長】猪苗代高校の探究学習では、地域の課題解決に貢献できる人材の育成が行われており、高校との意見交換や、関係者との認識共有を進めたい。

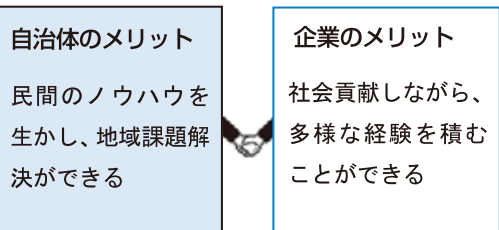
Q. 町の自主財源比率に対する考えは
A. 自主財源の確保に努める必要がある

【質問】ふるさと納税制度推進の成果は。

【企画財務課長】目標額の1億2千万円に対し、2月末時点の寄付額は、1億913万2千円。

【質問】ふるさと納税制度推進の成果は。

【企画財務課長】目標額の1億2千万円に対し、2月末時点の寄付額は、1億913万2千円。



(※2) 地域活性化企業人制度とは

地方自治体が都市部の民間企業の社員を受け入れ、民間企業のノウハウを発揮してもらう制度

【質問】基幹産業に関わる事業者や、第三セクターの強化による税収増加の取組は。

【企画財務課長】農業や観光業の活性化、使用料及び手数料の見直しを行い、自主財源の確保に努めたい。また、第7次猪苗代町振興計画を基に、豊かな自然を産業の振興に活かす仕組みづくりを目指す。